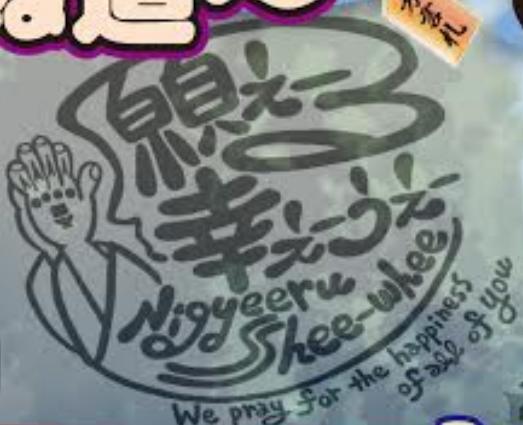
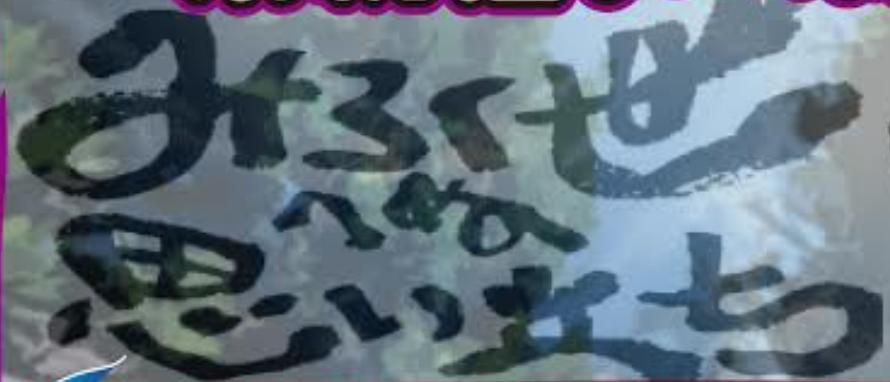


ちじさとう

・～しまくとうばこそ沖縄文化の起源を知る入り口である～

# ～系統悟いへぬ道～



⑥しまくとうばドキュメンタリー出演者 Revitalization of Shimakutuba

Decolinaization of the Mind



唐ぬ世から大和ぬ世、大和ぬ世からアメリカ世、アメリカ世からまた大和ぬ世、ひるまさ重ねゆるくぬウチナー  
特別インタビュー ハワイうちなあんちゅ

## ●語いぶさん 残しぶさん しまくとうばの世界

- 沖縄の言葉を喋ってはいけないという社会の抑圧、しまくとうばの存在というのは、もともと愛おしくて常に求めているあの母親の温もりのようなもの。（新垣 誠 沖縄キリスト教学院大学教授）
- 文化が否定されてしまうことは、自分が否定されてしまうこと、自信喪失するのが普通です。  
(石原 昌英 琉球大学教授)
- しまくとうばは、元々方言ではなくルーチュンという言葉として位置付けられていた。  
言葉は人権です。（新垣 友子 沖縄キリスト教学院大学教授）
- 今の沖縄で本当に伝統的なものが理解されない時代になっている。（狩俣 繁久 琉球大学教授）
- しまくとうば使（ち）かわねーから ウチナーンチュあらん！（福地 進 海んちゅ）
- しまくとうばを話す多くの方々が戦争で亡くなってしまった。（島袋 鮎子 いご娘リーダー）
- しまくとうばは沖縄独自の人材育成に活かされる。人をよくする為に役立つ言葉。（高宮城 清 元校長）

